



長門の造船歴史館企画展「亀ヶ首発射場と倉橋島」及び 日本遺産認定記念シンポジウムの実施について

令和2年6月、「亀ヶ首発射場跡」が日本遺産「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」の構成文化財として追加認定されたことを受けて、亀ヶ首発射場と倉橋島に関する企画展示、シンポジウムを実施します。

1 長門の造船歴史館企画展「亀ヶ首発射場と倉橋島」

- (1) 会期 令和3年1月8日（金）～3月28日（日）
- (2) 会場 長門の造船歴史館・企画展示室
- (3) 料金 常設展示入館料が必要
- (4) 主な展示資料
 - ・亀ヶ首から出土した和同開珎（埼玉県立さきたま史跡の博物館所蔵）
 - ・亀ヶ首発射場に関する海軍関連資料（防衛省防衛研究所所蔵）
 - ・亀ヶ首発射場に関する海軍関連資料（大和ミュージアム所蔵）
 - ・亀ヶ首発射場に関する漁業関連資料（倉橋島漁業協同組合所蔵）

2 日本遺産認定記念シンポジウム「亀ヶ首発射場と倉橋島」

亀ヶ首発射場と倉橋島の歴史を振り返るとともに、今後の活用について検討します。

- (1) 日時 令和3年1月23日（土）13:30～15:30
- (2) 会場 桂浜温泉館・なぎさホール
- (3) 定員 150名（参加費無料，事前申込み不要）
- (4) 構成

第1部 研究報告（各20分）

- ・下向井龍彦（広島大学名誉教授）「古代・中世の倉橋島と亀ヶ首」
- ・菅信博（広島会計学院専門学校校長）「地元倉橋から見た亀ヶ首発射場」
- ・千田武志（広島国際大学客員教授）「亀ヶ首が果たした二つの役割－46センチ砲とエリート工員の誕生」

第2部 パネルディスカッション「亀ヶ首発射場と倉橋島－歴史と活用－」（40分）

- ・司会 戸高一成（呉市海事歴史科学館館長）
- ・パネリスト 下向井龍彦，菅信博，千田武志，柳井敏弘（くらはし観光ボランティアガイドの会会長）